

山口警協発第236号
平成28年12月8日

(一社) 全国警備業協会
専務理事 福島克臣様

(一社) 山口県警備業協会
会長 玉田 晃

緊急災害支援警備隊の発足について（報告）

謹啓

時下、益々ご清栄のこことお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、予てからの懸案事項でありました災害対応については、この度、緊急災害支援警備隊の指名式を開催して、山口県警備業協会緊急災害支援警備隊を発足したので、次のとおり報告いたします。

謹白

記

- 1 開催日時
平成28年12月3日（土） 午前9時30分～午前9時50分
- 2 開催場所
山口市矢原1284番地1
独立行政法人 山口県職業訓練センター「ポリテクセンター山口」
- 3 隊員指名者
一般社団法人 山口県警備業協会会長 玉田 晃（本職）
- 4 指名隊員
山口県警備業協会所属の特別講習講師14名
- 5 来賓
(1) 山口県警備業協会副会長 梶原貞次郎（ALSOK 山口株式会社社長）
(2) 同副会長 岡野時夫（セコム(株)山口統轄支社顧問）
(3) 同理事 藤田 誠（山口県警備業協会理事）
- 6 開催内容
(1) 指名書交付

玉田会長が、隊員 14 名一人ひとりに緊急災害支援警備隊指名書を交付

※ 緊急災害支援警備隊指名書については、別添のとおり

(2) 会長訓示

玉田会長から、

本隊発足は、山口県警備業協会会長を拝命して、全国警備業協会防災委員に任命されて以来、全国で発生する災害を見るたびに、懸案としてきたことで、喜びもひとしおである。

今年の災害を思い返してみると、熊本地震に始まり、鳥取県中部地震、そして北海道・東北地方の台風による大雨により各地で大災害が発生した。近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等、いつ・どこで発生しても不思議ではない状況にある。

隊員諸君は、災害の発生を防ぐことはできないが、被害を最小限に食い止める「減災」は、創意工夫と努力によって可能になると思う。

日頃から災害に関する知識、発生時の対応要領などの実戦的訓練を繰り返し、被災現場で「何が必要か?」「何をしなければならないか?」十分に認識しておくことが重要になると思う。今後は、当協会を代表する警備隊として、活躍されんことを願う。との訓示があった。

(3) 決意表明

会長の訓示終了後、隊員を代表して

株式会社 中国警備保障 上川高太郎 警備隊隊長が

「我々緊急災害支援警備隊員は、社会の安全・安心に貢献する警備員であることの誇りと使命感、奉仕の精神を持って、被災現場における救援活動等に最大限の努力することをここに誓います。」

と力強く決意を表明し、決意書を会長に手交した。

7 その他

- (1) 今後発生が懸念されている災害に備え、機会あるごとに実践的訓練を実施して、隊員の危機意識の醸成と現場対応能力の向上に努めることとしている。
- (2) 緊急災害支援警備隊員指名式の状況は別添写真のとおり。

警備隊員



指名書の交付



指名書の交付



会長訓示



決意表明の状況



来賓（理事）

